

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	消防署出張所等整備事業		
事業担当	消防本部 消防総務課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	安 全 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、職員	事業期間	平成25年度 ~ 平成28年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
市民の生命・財産を様々な災害から守るための消防力が充実しています。		消防活動拠点の充実のため、老朽化の著しい消防署出張所等を整備します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	消防署出張所等解体・整備進捗率(神田)(平成25年度から平成28年度まで)			単位	%
	説明・算定式	平成28年度の建設完了を100%とした進捗率。H25:地質調査・基本設計20%、H26:実施設計20%、H27:解体・建設30%、H28:建設30%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標		10	40	70	
	実績		20	40		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況		：若干遅れている				
	遅れている理由	配置計画の検討等、基本設計に係る見直しに時間を要したため。				
平成26年度の主な取組と成果						
職員による神田出張所庁舎建設検討委員会により、最新事例を研究し職員の意見及び省エネルギー設備を取り入れ実施設計に反映させました。また、周囲の住民へ庁舎建設について説明会を実施しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	消防活動の拠点の充実のため、老朽化の著しい消防庁舎を順次整備する必要があります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等の災害対応が充実します。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等による庁舎への被害を防ぐ事が可能となります。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	消防庁舎を整備するにあたり、将来性及び地域性を考慮する必要があります。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 神田出張所の解体・新改築工事にあたり、配置部隊及び指令システムの移転作業を行い、移転先での運用にそなえる必要があります。また、工事の進捗状況を工程表により確認します。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		建設:大野	地質調査:神田	実施設計:神田	解体・建設:神田
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	217,000	0	0	85,000
	その他 特財	4,000	0	0	0
	一般財源	92,932	985	455	13,264
事業費 (A)		313,932	985	455	98,264
執行率 (%)		99.48	78.80	3.14	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度の取組方針</b> 神田出張所の建て替えにあたり、環境に配慮した新築工事を進めます。
<b>課長コメント</b> 老朽化した神田出張所の設計を実施し、付近住民への説明を行って理解を得られるように事業を進めます。大震災時等にも消防力を維持できるよう、耐震性が危惧される老朽化した消防庁舎を計画的に整備していきます。